

富山県立大で連続講座を開催します ～1年生が現場で社会資本の役割を学習～

富山河川国道事務所と伏木富山港湾事務所は、富山県立大学環工学部環境工学科の1年生を対象に今年度から4回の連続講座を開設し、富山県内の河川、道路、港湾等の身近な社会資本を題材に、その目的と役割、地域との関わり合いについて学習に取り組んで貰っています。今回は4回目の最終講座として、実際の施工現場を訪れ、講義内容の理解を深めると共に、現場の若手技術者と意見交換を行い、建設業の魅力に直接触れて貰う貴重な体験をします。

本講座は、北陸建設界の担い手を巡る現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって、担い手の確保・育成の取り組みを推進することを目的とした「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（富山県部会）」の取り組みの一環です。

●見学会の概要

日時：平成27年7月10日（金）（雨天決行）

（道路関係）

国道8号坂東交差点立体化 見学時間 13:30～14:30頃

集合場所：射水市坂東地先（添付図を参照）

（港湾関係）

伏木富山港老朽化対策他 説明・見学時間 14:50～16:20頃

集合場所：新湊出張所（射水市堀岡新明神字西浜205-150）

（出張所内で概要説明後、ケーソン製作現場へ車で移動します。）

対象者：富山県立大学環工学部1年生44名

その他：取材の方は集合場所まで車でお願いします。（集合場所に駐車場有り）

工事現場では安全のため現地誘導員の指示に従ってください。

見学時間は目安であり交通状況等により前後する場合があります。

●見学のポイント

「国道8号坂東交差点立体化事業」

- ①補強土壁工事と橋梁工事の説明
- ②体験実習（特殊盛土と通常盛土の違い、最新機器の測量体験など）
- ③工事に施工する若手技術者（県立大学卒業生2名）が直接建設業界の魅力を説明

「伏木富山港（富山地区）老朽化対策事業」

- ① 伏木富山港（富山地区）老朽化対策事業及び本体工事の概要説明
- ② 体験実習（鉄筋結束作業体験※実際に器具を使った鉄筋の結束作業）

お問い合わせ先

（全 般）富山河川国道事務所 調査第一課 万行 康文 TEL 076-443-4715 FAX 076-443-4716
（港湾関係）伏木港湾事務所 技術副所長 松井 康彦 TEL 076-441-1904 FAX 076-443-5320

国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所

代表電話：076-443-4701

〒930-8537 富山市奥田新町2番1号

<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

伏木富山港老朽化対策他

港湾会場(14:50頃～)
射水市堀岡新明神字西浜205-150
新湊出張所庁舎(①集合後、②に移動)

富山新港
ケーソン製作現場②

新湊出張所①
(伏木富山港湾事務所)

富山県立大学

国道8号坂東交差点立体化現場

道路会場(13:30頃～)
射水市坂東地先
(国道8号坂東交差点付近)

現場
(坂東交差点)

集合場所
(駐車スペース)

